



心の変化

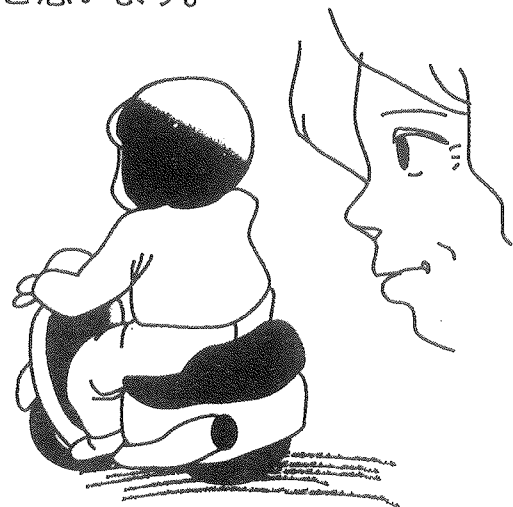
平成五年入院、それまでは29歳まで、自分なりに親元を離れ、都会の片隅で、仕事し遊び生活していました。病気なんて、風邪ぐらいと思っていました。

10年間、自分の力を都会で、精神科（病院）全然気にもしていませんでした。ほとんどの人がそうだと思います。

でも自分が精神病院に入院し、今「しょうがない」とむしろ病気になって色々学びました。ぼくは、「しょうがない」という言葉が好きです。

今、生活保護で母と二人町営住宅に暮らしています。スクーターで食事の買い物したり母も身体障害者です。43歳の僕は、自分で、今病気とつきあって生きる。つらいな!!自分自身まだ病気と行動力バランスがうまく行っていないです。もうチョット、時間が必要みたいです。

安心と言う「ことば」なかなかつかめません。「しょうがない」自分なりに生きて行くしかありません。病気に成り立てのころは、「何でもできる!!」と思っていましたが、あきらめることも必要だと思います。



病い

先日、結婚して、二十数年たった主人が会社を退職しました。

なぜかこの頃、涙が出て苦しくなります。

主婦として家事をした事、苦しいときも病いとたたかいながら頑張ってきた事、自分ながら再発せず歩いた道しるべと思いつつ今は、安堵でいっぱいです。今でも病いは不安だらけの毎日です。

病のない主人と結婚して毎日健康にばかり気をつけてきました。

結婚してからは、主人は給料を全部まかせてくれました。私は、家計のやりくりでただひたすらに一生懸命でした。

主人も年金をもらうようになり、私に無理せぬように家事を手伝ってくれます。子供も居ないので、永代供養の二人の墓を建てました。そして今は、夫婦で頑張った分、少しずつお金を貯めて旅に出たりします。

病いで苦しみもたくさんありましたが、主人の支え、主治医の励ましで、今の私があると思います。

西川病院・オアシス・相談室と、私が悩むとき、ストレス解消する場所が私にはあります。

ただ話をするだけで私の心は和みます。

今、私はこれからも不安だらけです。

負けずに好きな「川柳」「短歌」を詠みながら、第二の人生を主人と共に歩もうと思います。

第2回島根県当事者会連絡会アトラクション、ギター弾き語りをやってみて

当日はあいにくの雨だった。第一回より人数が少なかった。

会場は予め下見していた。その広さからあがる事はないだろうと思っていた。

何回も人前で演った曲だったので安心してた。

ギターという楽器の弦は温度や湿度でデリケートに伸びたり縮んだりする。当日も冷房が入っていたので何度かチューニングし直した。

Take it easy を流しながら、一人でスタンバイした。来賓の方達が来られたせいか固くなってしまった。でも何とか間違えずに演奏できた。満足感と達成感があった。県当事者連絡会の今後の発展を願っている。



ほほえみの風イベント

日時 平成19年9月29日(土)

13:00～

場所 パルメイト出雲4F

内容 フリーマーケット、ライブ、活動紹介

パルメイト出雲

市営駐車場地図

駅北駐車場

ホテルα1 ● ポプラ ●

●東横イン

74台

47台

JR 出雲市駅

116台

高架下駐車場

駅南駐車場

※車で来られる方は、駐車券をお持ち下さい。
無料にします。